

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2023年9月4日

1. 新型コロナワクチン接種により、急性心筋梗塞患者の死亡率が半減した
2. この論文を紹介した理由

【松崎雑感】

「反ワクチン」を主張するインフルエンサーのほとんどは、「ワクチンは危険だから
△△治療をせよ」「接種されたワクチンの毒は〇〇を使えば消される」から
〇〇を買え、と言う不安に付け込んだ営利活動を行っているようです。一つ
一つ、科学的根拠によってそのような文言を否定するのは労多くして功少な
しですが、やらざるを得ません。

新型コロナワクチン接種により、急性心筋梗塞患者の死亡率が半減した

Gupta MD, Kunal S, M P G, et al. **Impact of COVID-19 vaccination on mortality after acute myocardial infarction.** *PLoS One.*

2023;18(9):e0291090. Published 2023 Sep 1.

doi:10.1371/journal.pone.0291090

背景

新型コロナmRNAワクチンは、感染を防ぐ免疫効果が高いが、心臓血管疾患に対するマイナス影響は明らかになっていない。

目的

心筋梗塞に罹患した人々において、新型コロナワクチン接種歴が死亡率にどのように影響するかを検討する。

方法:

北インドの「ST上昇心筋梗塞患者登録システム」の心筋梗塞患者について、新型コロナワクチン接種歴を検索し、それらの患者について、心筋梗塞発症後6か月以上の追跡を行い、全死亡リスクを評価した。

結果

解析対象はワクチン接種歴ありの1086名と、なしの492名の心筋梗塞患者。ワクチン接種群の全死亡率は、発症から30日目で、未接種群の0.58倍（95% CI: 0.47-0.71）、6か月後で、0.54倍（0.44-0.65）と、ワクチン接種群に有意に全死亡率が低かった。

結論

心筋梗塞発症者においても、新型コロナmRNAワクチンは、30日および6か月死亡率を半減させていた。

【この論文を紹介した理由】 新型コロナmRNAワクチンが実用化されたころに、あれこれの「学会発表」をネタにして、「ワクチンは危険だ。ビタミンC点滴こそが命を救う」的な、危機に付け込んだ金儲け商法が盛んになりました。下記はその一例です。今回紹介した論文は、心筋梗塞を発症した人々の死亡リスクをmRNAワクチン接種別にみたもので、もちろんワクチン接種により死亡率が大きく低下する事が改めて証明されています。

● [オーソモレキュラー医学会|記事ページ \(isom-japan.org\)](https://isom-japan.org)

2021-12-07

mRNAワクチン接種により重症心臓発作のリスクが倍増する？—アメリカ心臓協会の発表
2021年11月に開催されたアメリカ心臓学会学術集会の中で「新型コロナワクチン接種後に重症心臓発作の発症リスクが高まる」との発表がされました。そして、イギリスのニュース専門放送局「GB News」にて行われた心臓専門医へのインタビューでも、同様の研究結果を入手しているとの発言がありました。

本稿では、これらの詳細をお伝えしながら今後懸念されるであろう問題点を挙げています。

...

私はガンドリ博士の研究結果の再確認がされるまでは、ブースター接種を含めてワクチン接種に慎重になるべきだと考えます。さらに健康な小児において、ワクチン接種は避けるべきでしょう。
そして、国際オーソモレキュラー医学会が提唱するビタミンC、ビタミンD、亜鉛などによる栄養療法で安全に新型コロナの感染予防と重症化予防を日頃から行うことを推奨します。

なお、今回ご紹介した論文の詳細内容についてAHA側で調査中とのことで、正式な論文として掲載されることを期待しています。